



七里小だより

5月号

さいたま市立七里小学校
令和8年4月27日

『155周年記念 祝七里小誕生日会 ～つなごう未来へ～』



さいたま市立七里小学校
校長 館 和 成

新緑が目に見え、さわやかな季節となりました。保護者・地域の皆様には、日頃より本校の教育活動に温かい御理解と御支援をいただき、心より感謝申し上げます。新年度が始まって最初の月が終わりを迎えます。子どもたちは新しい学年や学級にも少しずつ慣れ、意欲的に学校生活を送っています。

開校記念日である4月21日、本校は創立155周年を迎えました。この節目の日に、「155周年 祝七里小誕生日会 ～つなごう未来へ～」を行い、全校で七里小の誕生日をお祝いすることができました。

この誕生日会は、昨年度の代表委員の子どもたちが中心となり、準備を重ねてきたものです。当日の進行や企画の随所に、七里小学校への思いや、「155年の歴史を未来へつないでいきたい」という子どもたちの願いが感じられました。

会の中で、「おめでとうくす玉」の場面では、全校でハッピーバースデーの歌を歌い、くす玉が見事に割れると、「七里小155周年おめでとう！」の垂れ幕が現れました。体育館いっぱいに拍手と歓声が広がり、子どもたちの「おめでとう！」の声がいくつも響く、温かく心に残るひとときとなりました。



代表児童の言葉では、「長い歴史を誇る七里小の記念すべき年を、みんなで盛大にお祝いしましょう」「笑顔やあいさつあふれる素敵な七里小にしていましょう」といった、これからの学校を見つめた力強く前向きな言葉が語られました。七里小学校の一員としての誇りと、未来に向かって学校をよりよくしていこうとする思いが伝わってきました。

さらに、来賓としてお招きした本校卒業生でもある学校運営協議会の委員の方々からは、当時の七里の地域や七里小学校の様子について、貴重なお話を伺うことができました。七里小学校で過ごした日々を振り返りながら、「夢や希望を叶えるために頑張ってください」「友達をたくさんつくり、楽しい6年間を過ごしてください」と、子どもたちへの温かいメッセージを届けてくださいました。創立155周年という長い歴史が、地域の方々や多くの先輩方の思いによって支えられてきたことを、子どもたちは実感することができたのではないのでしょうか。

今回の誕生日会を通して、子どもたちが自分たちの学校に誇りをもち、七里小学校の歴史と未来について考える貴重な機会となりました。そして、その背景には、日頃から本校を支えてくださっている家庭・地域の皆様の存在があります。多くの方々に見守られ、支えられていることが、七里小学校の大きな力となっています。

今後とも、家庭・地域・学校が連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えていければと思います。引き続き、本校の教育活動への御理解と御協力をお願い申し上げます。

保護者の皆様におかれましては、学校生活の中で質問や心配なことがありましたら、いつでも学校まで御連絡ください。また、お子様の普段の様子を学校に見に来ていただくことも可能ですので、その際は職員室までお声掛けください。



5月1日は、「さいたま市民の日」で、さいたま市立の学校は、休業になります。4月28日のお話朝会では、子どもたちにさいたま市民の日のパンフレットを配り、今年は、さいたま市誕生25周年であることや5月1日に無料で利用できる施設などについてお話をしました。パンフレットは、ぜひ、お子さんと一緒に御覧ください。